

令和5年度 第14回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和5年12月23日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員5名、子どもサポーター3名、事務局2名
オンライン参加：子ども会議委員2名
- 4 活動内容 (1) 子どもの権利トークイベントについて
(2) グループ活動
- 5 開催概要

子どもの権利トークイベントについて

去年実施したトークイベントの内容を共有した後、2月に開催するトークイベントについて、子どもサポーターの進行のもと、事前アンケートの結果を用いて詳しい内容を話し合いました。

まずは、トークの形式について、昨年と同じく2種類行うことにしました。昨年度、一般参加者と子ども会議委員ともに一番人気の高かったディベート形式のトークゲームと、もう1つは多数決を行い、フリートーク形式に決まりました。フリートークは一般参加者も参加しやすく、普段から馴染みのある形式であり、当日戸惑うことはないだろうという理由からみんな納得することができました。

次に、お楽しみコーナーで行うことについて、的あて・クイズ・ワードビンゴ・けんりはかせを探索の4つが事前アンケートでほぼ同じ票数になったため、この中から絞るのではなく、全部やる方向で内容を修正しました。的あては、子どもの祭典で使ったものを再利用することにしました。子どもの祭典では、“けんりしんがいくん”や権利侵害がされている状況のイラストの的を用意しましたが、今回はけんりはかせの的や子どもの権利が守られている的など、倒してはいけない的も用意することにしました。クイズでは、子どもの祭典で使用したクイズから3問と、クロスワードと「けんりはかせを探索」を取り入れることにしました。

このほか、去年のトークイベントに追加して「子どもの権利川柳の募集」などの新しいことをやりたいか考えましたが、去年のイベント内容を修正して、しっかりと今年は運営したい、という意見から追加コーナーは設けないことにしました。

そして、トークテーマの候補を話し合いました。イベント当日、参加者があまり悩まずに決められるよう、少なめに用意することにし、ディベート形式では「①友だちは多い方が良い？悪い？」「②ウソは良いこと？悪いこと？」「③個性と協調性、大事にするのはどっち？」「④お金がある世界となない世界どっちが幸せ？」、フリートーク形式では「①ふつうってなに？」「②『やさしい』ってどういうこと？」「③『空気を読む』ってどういうこと？」「④絶対に必要だと思う教科はなに？」に決めました。

最後に、チラシデザインについて話し合い、前回のトークイベントと同じ新聞調、フォーラムのチラシと同じ黒板調、仮想世界の3つの意見が出て、多数決の結果、黒板調に決定しました。

グループ活動

<オシ隊>

新しいクイズ問題について考えたり、浅虫散策マップに使えるイラストを書いたり、フォーラムの感想などをそれぞれ出し合いました。

<Improve A. B. C. >

グループ活動の続きを行い、初めにおすすめの本の紹介をまだInstagramに投稿できていない委員は、投稿文を考えたり写真を撮影したりしました。

次に、みんなで仮想まちづくりの活動を進めました。青森市の課題から、それらを解決するためにできることを、まちづくりに落とし込むことにし、青森県の平均寿命と自殺率が全国の中でも非常に悪いことから、長生きするために必要なことを考えました。子どもの肥満度が高く、運動をする習慣があまりないことから、冬でも体を動かせるような場所や、誰でも手軽に利用できるスポーツジムの普及を考えました。病院についても考え、待ち時間や自宅からの通いやすさを話し合ったところ、浪岡地区に住む委員から出た「眼科は黒石に行っている」という意見に、新城地区に住む委員も「眼科は近くにないので青森駅の方まで来ている」と、普段は意識していなかった通いやすさも考えるきっかけとなりました。

他にも、自殺者を減らすための取組として、相談機関の利用促進を考え、現在知っている相談機関を出し合いましたが、チラシなど見たことがあっても覚えていないことに気づきました。自分が困ったときはもちろん、友達に相談された際に「こういうのもあるよ」とすぐ教えてあげられるような状態が望ましいと考えました。相談機関の周知が必要で、その方法についても考えたいと思いました。

